

(様式第9)

鳥大医療 第16-1号  
平成24年1月2日

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院  
病院長 北野

鳥取大学医学部附属病院病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務について報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	19人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	323人	63人	370.4人	看護補助者	76人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	12人	5人	14.8人	理学療法士	14人	臨床検査技師	45人
薬剤師	33人	0人	33.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	29人	1人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	633人	12人	642.5人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	1人	その他の技術員	27人
歯科衛生士	2人	1人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	203人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	36人	その他の職員	20人

(注) 1 報告を行なう当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	555.3人	11.3人	566.6人
1日当たり平均外来患者数	1,270.2人	65.4人	1,335.6人
1日当たり平均調剤数			942.1剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません。		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	30人	・膿疱性乾癥	2人
・多発性硬化症	38人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	66人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・全身性エリテマトーデス	124人	・重症急性胰炎	4人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壞死症	16人
・再生不良性貧血	13人	・混合性結合組織病	23人
・サルコイドーシス	75人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	117人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	39人	・プリオント病	0人
・結節性動脈周囲炎	26人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	55人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	35人	・ライソーム病	4人
・クローン病	27人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	193人	・球脊髄性筋委縮症	7人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	12人
・アミロイドーシス	7人	・肥大型心筋症	2人
・後縫靭帯骨化症	56人	・拘束型心筋症	1人
・ハンチントン病	4人	・ミコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	22人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・ウェグナー肉芽腫症	10人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	67人	・黄色靭帯骨化症	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	23人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	50人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	・
・超音波骨折療法	・
・インプラント義歯	・
・根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年15~20回程度
部 檢 の 状 況	部検症例数 19 例 / 部検率 3.60%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助金等の実績(平成23年度)

	研究課題	研究者氏名	所属	金額(千円)	補助元又委託先
1	C型慢性肝疾患での肝発癌と細胞外マトリックス分解系の遺伝子多型との関連	村脇 義和	機能病態内科学	700,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
2	角膜ヘルペス治療における分子標的の解明	井上 幸次	視覚病態学	900,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
3	慢性ストレスとうつ病：香料吸入の予防効果とその機序に関する研究	渡邊 達生	統合生理学	1,100,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
4	セツキシマブの肺癌治療における新しいバイオマーカーの開発	千鶴 浩樹	分子制御内科学	800,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
5	I GF-I 受容体異常症の解明：新規変異遺伝子の探索と機能解析および表現型の検討	神崎 晋	周産期・小児医学	900,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
6	発達早期の社会的ストレスが辺縁系GABA性神経系機能に及ぼす影響に関する研究	兼子 幸一	精神行動医学	700,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
7	膠芽腫におけるEP4受容体阻害剤の腫瘍抑制効果の検討	渡辺 高志	脳神経外科学	1,000,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
8	子宮内膜症組織培養系の確立と月経血の抗原性による子宮内膜症発症機序の解明	岩部 富夫	生殖機能医学	700,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
9	ビスホスホネートによる頸骨壊死の予測マーカーならびに発症メカニズムに関する検討	領家 和男	口腔顎顔面病態外科学	600,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
10	Srcを標的分子とした小細胞肺癌の治療を開発するための実験的研究	井岸 正	分子制御内科学	1,100,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
11	脳梗塞症罹患後安定期における健康寿命阻害因子の分析と予防法構築のための研究	古和 久典	脳神経内科学	500,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
12	ADC-C活性制御による胸膜中皮腫の新しい治療法の開発	清水 英治	分子制御内科学	1,000,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
13	アルツハイマー病における糖タンパクの糖鎖異常の解析	浦上 克哉	生体制御学	1,100,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
14	小児期発症メタボリック症候群における新たな疾患感受性遺伝子の探索	花木 啓一	母性・小児家族看護学	1,000,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
15	非生毛部に生じた悪性黒色腫に対する表皮基底面の走査型電子顕微鏡学的観察	吉田 雄一	皮膚病態学	600,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
16	急性肺障害に対する生体内高エネルギー燃酸化物のホスホエノールピルビン酸の投与効果	大嶋 嘉明	麻酔・集中治療医学	1,000,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
17	服薬管理における臨床薬理学分野の看護実践能力向上をめざした教育プログラム開発	松田 明子	基礎看護学	700,000	(補)日本学術振興会 (委)科学研究費補助金
18	消化器癌患者におけるT細胞機能低下メカニズムの検討とその制御による免疫治療の開発	齊藤 博昭	病態制御外科学	1,400,000	(補)日本学術振興会 (委)学術研究助成基金助成金
19	血球貪食症を伴う慢性活動性EBV感染症ウサギモデルの病態解析	林 一彦	分子病理学	1,800,000	(補)日本学術振興会 (委)学術研究助成基金助成金

	研究課題	研究者氏名	所属	金額(千円)	補助元又委託先
20	軽度パーキンソン微候から認知症・パーキンソン病への進行に関する縦断的疫学研究	中島 健二	脳神経内科学	1,500,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
21	睡眠時無呼吸症候群による時計遺伝子を介した分子生物学的影響に関する研究	鰐岡 直人	病態検査学	1,200,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
22	脳波コヒーレンス解析による急性脳症の早期診断	前垣 義弘	脳神経小児科学	900,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
23	低真空走査型電子顕微鏡を用いた巣状糸球体硬化症の早期診断	岡田 晋一	周産期・小児医学	3,300,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
24	マイクロバブルを用いたドラッグデリバリーの開発	神納 敏夫	医用放射線学	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
25	癌形質を消失させるマイクロRNA群の薬物応用への試み	三浦 典正	薬物治療学	1,300,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
26	耐性遺伝子を用いた上皮性卵巣癌抗癌剤感受性試験の試み	浪花 潤	生殖機能医学	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
27	呼吸窮迫症候群の新しい治療法の研究—サリドマイドの肺血管新生戦略の検討	船越 多恵	麻酔・集中治療医学	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
28	免疫制御因子を標的とした加齢黄斑変性に対する分子治療法の戦略的開発	池田 欣史	視覚病態学	2,000,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
29	薬用ハーブパルテノライドによる子宮内膜症細胞増殖抑制に関する基礎研究	谷口 文紀	女性診療科群	500,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
30	炎症制御を主眼とした難治性角結膜疾患の器官再生的病態探索と分子治療法の開発	宮崎 大	眼科	400,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
31	転写因子Nrf2活性化による急性肺傷害の保護に関する研究	持田 晋輔	麻酔診療科群	1,900,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
32	イオンチャネルの遺伝子多型とゲノム刷り込み現象が全身麻酔薬の効果に及ぼす影響	大槻 明広	がんセンター	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
33	成長におけるIGF-I作用の新たな役割: ALSおよびIGF-I受容体の機能解析	鞍嶋 有紀	小児科	400,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
34	卵巣粘液性腺癌の細胞生物学的特性の解明と抗癌剤耐性克服の試み	佐藤 慎也	女性診療科群	900,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
35	内リンパ囊におけるバゾプレッシン—アクリポリン2水代謝機構に関する総合的研究	田口 大蔵	頭頸部診療科群	700,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
36	N $\alpha$ アセチル基転移酵素標的蛋白質の同定とアセチローム制御による新規治療法の開発	田窪 千子	歯科口腔外科	1,500,000	(補)日本学術振興会 科学研究費補助金 委
37	遺伝子多型に基づく薬物輸送蛋白OATP2B1活性の個人差および臨床的意義の解明	高根 浩	薬剤部	1,500,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
38	スフィンゴ脂質サルベージによる炎症制御	北谷 和之	検査部	2,200,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
39	地域疫学調査による大脳白質病変の病態解明と予防の確立に関する研究	山脇 美香	リハビリテーション部	1,200,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委
40	レビー小体型認知症の診断バイオマーカーの探索	中下 聰子	神経内科	1,000,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金 委

	研究課題	研究者氏名	所属	金額(千円)	補助元又委託先
41	肺癌患者における末梢血ゲノム異常細胞の解析	松本 慎吾	第三内科診療科群	1,600,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
42	角膜内皮は抗原提示細胞として免疫応答を制御するか?	小松 直樹	眼科	2,500,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
43	Ant i-miRNAによる骨芽細胞分化誘導	岡本 秀治	口腔顎頸面病態 外科学	1,600,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
44	発達障害児における行動障害に関する有効なコンサルテーションシステムの開発	井上 雅彦	臨床心理学	800,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
45	皮下脂肪由来再生細胞の血管再生治療臨床応用へ向けた基本的情報の検討	山本 康孝	再生医療学	1,000,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
46	生理学的アプローチによるヒト全能性幹細胞由来ペースメーカー細胞作製と再生医療応用	久留 一郎	再生医療学	1,500,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
47	大規模スクリーニングシステムによる肝再生医療を実現化する低分子化合物の同定	汐田 剛史	遺伝子医療学	2,000,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
48	軽度認知障害のアルツハイマー病への移行を予測する神経心理学検査の検討	竹田 伸也	臨床心理学	500,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
49	ロールレタリングによる看護学生の共感性の育成に関する研究	金子 周平	臨床心理学	900,000	(補)日本学術振興会 学術研究助成基金 助成金
50	《H22 繰越分》 急性肺障害に対する生体内高エネルギー燃素化合物のホスホエノールピルビン酸の投与効果	大嶋 嘉明	麻酔・集中治療医学	650,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
51	《H22 繰越分》 Srcを標的分子とした小細胞肺癌の治療を開発するための実験的研究	井岸 正	分子制御内科学	364,339	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
52	《H22 繰越分》 呼吸窮迫症候群の新しい治療法の研究—サリドマイドの肺血管新生戦略の検討	船越 多恵	麻酔・集中治療医学	1,200,000	(補)文部科学省 委 科学研究費補助金
53	《H22 繰越分》 イオンチャネルの遺伝子多型とゲノム刷り込み現象が全身麻酔薬の効果に及ぼす影響	大槻 明広	がんセンター	400,000	(補)文部科学省 委 科学研究費補助金

合計53

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
人工臓器, 40(1):3, 2011	活気ある日本人工臓器学会を目指して	西村元延	第二外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 59(8):566-568, 2011	Acute aortic dissection at 33 weeks of gestation with fetal distress syndrome.	Akira Marumoto	第二外科
心臓移植 シュプリンガー・ジャパン株式会社 松田 輝 監修 / 布田伸一、福島教偉 編:158-162, 2011	ドナー心摘出手術と心保存法	西村元延ほか	第二外科
Hypertens Res, 34:25-330, 2011	The Effect of losartan and amlodipine on left ventricular diastolic function and atherosclerosis in Japanese patients with mild-to-moderate hypertension —J-ELAN study—.	Yamamoto Kほか	第一内科
Heart Vessels, 26:252-227, 2011	Administration of angiotensin-converting enzyme inhibitors is associated with slow progression of mild aortic stenosis in Japanese patients.	Yamamoto Kほか	第一内科
Circ J, 75:596-602, 2011	Transition from asymptomatic diastolic dysfunction to heart failure with preserved ejection fraction: roles of systolic function and ventricular distensibility.	Yamamoto Kほか	第一内科
Eur Heart J doi:10:1093/euroheartj/EHR106	Ca <sup>2+</sup> entry mode of Na <sup>+</sup> /Ca <sup>2+</sup> exchanger as a new therapeutic target for heart failure with preserved ejection fraction.	Yamamoto Kほか	第一内科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 59:273-276, 2011	Transcatheter aortic valve implantation: first trans-iliac experience in Japan (Case report).	Yamamoto Kほか	第一内科
Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society, 76(5):1177-1181, 2011	Normal Values of Three-dimensional Echocardiographic Parameters in Healthy Japanese Population - The JAMP-3D Study -. Circ J (in press)	Yamamoto Kほか	第一内科
Circ Res, 108(4):458-468, 2011	Reciprocal control of hERG stability by Hsp70 and Hsc70 with implication for restoration of LQT2 mutant stability.	Kato Mほか	第一内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol, 31(5):1133-1138, 2011	Cytosolic Phospholipase A2[alpha] Contributes to Blood Pressure Increases and Endothelial Dysfunction Under Chronic NO Inhibition.	Hisatome Iほか	第一内科
Invest Ophthalmol Vis Sci, 52(9):2882-2898, 2011	Multivariate analysis of inflammatory cytokines in eyes with branch retinal vein occlusion: Relationships to bevacizumab treatment.	Kaneda S	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci, 52(7):4282-4293, 2011.	Herpes simplex virus type 1-induced transcriptional networks of corneal endothelial cells indicate antigen presentation function.	Miyazaki D	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci, 52(9):6729-6736, 2011.	Roles played by toll-like receptor-9 in corneal endothelial cells after herpes simplex virus type 1 infection.	Miyazaki D	眼科
眼臨紀, 4(5):437-441, 2011	流行性角結膜炎を契機として重症の薬剤毒性角膜症を生じたSjögren症候群の1例	魚谷瞳ほか	眼科
あたらしい眼科, 28(5):679-687, 2011	細菌性結膜炎における検出菌・薬剤感受性に関する5年間の動向調査(多施設共同研究)	井上幸次ほか	眼科
眼臨紀, 6:552-558, 2011	強角膜表層切除術、輪部移植とインターフェロンα-2b点眼が奏効した扁平上皮眼の1例	三宅敦子ほか	眼科
日眼会誌, 115(9):801-813, 2011	前眼部・外眼部感染症における起炎菌判定—日本眼感染症学会による眼感染症起炎菌・薬剤感受性多施設調査(第一報)ー	井上幸次ほか	眼科
日眼会誌, 115(9):814-824, 2011	前眼部・外眼部感染症起炎菌の薬剤感受性—日本眼感染症学会による眼感染症起炎菌・薬剤感受性多施設調査(第二報)ー	井上幸次ほか	眼科
臨眼, 65(5):705-710, 2011	巨大網膜色素上皮裂孔を併発した顎動脈海綿静脈洞瘻の1例	魚谷瞳ほか	眼科
日本弱視斜視学会雑誌, 38:39-42, 2011	動眼神経麻痺による上斜視に用いた水平筋全幅移動術	石倉涼子ほか	眼科
眼臨紀, 4(9):881-887, 2011	近視性脈絡膜新生血管に対するbevacizumab硝子体内投与後の新生血管上の網膜厚の変化	山崎厚志ほか	眼科
Thorac Cardiovasc Surg, 59:137-41, 2011	Comparison of the surgical outcomes of thoracoscopic lobectomy, segmentectomy, and wedge resection for clinical stage I non-small cell lung cancer.	Nakamura H	胸部外科
Yonago Acta Medica, 54:83-6, 2011	Mediastinal malignant lymphoma difficult to diagnose:A patient report.	Miwa K	胸部外科
Asian J Endoscopic Surg, 4:147-9, 2011	Intrapulmonary schwannoma in the right middle lobe: A case report.	Fujioka S	胸部外科
Pharmazie, 66:729-30., 2011	Syndrome of inappropriate secretion of antiuretic hormone(SIADH) following carboplatin+paclitaxel administration a patient with lung cancer.	Fujioka S	胸部外科
Thorac Cardiovasc Surg, 59:128-30, 2011	Pulmonary epithelioid hemangioendothelioma with PIGF expression: Report of a case.	Haruki T	胸部外科
Eur J Cardiothorac Surg, 39:763-8, 2011	The morphological diversity of small lung adenocarcinoma with mixed subtypes is associated with local invasiveness and prognosis.	Haruki T	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 60:183-7, 2011	First experience of robotic extended thymectomy in Japan for myasthenia gravis with thymoma.	Nakamura H	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 60:168-70, 2011	Thoracoscopic resection with intraoperative use of methylene blue to locate and identify mediastinal parathyroid adenoma.	Adachi Y	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 60:104-11, 2012	Current status of postoperative follow-up for lung cancer in Japan: questionnaire survey by the Setouchi Lung Cancer Study Group -A0901	Sawada S	胸部外科
PEPARS, 60:39-44, 2011	舌垂全摘・全摘後の再建	中山敏	形成外科
日本マイクロ会誌, 24(4), 2011	外頸靜脈弁血栓に対する外科治療-外頸靜脈を安全な移植床静脈に	中山敏ほか	形成外科
Fertil.Steril., 95(1):33-39, 2011	Demethylation of a nonpromoter cytosine-phosphate-guanine island in the aromatase gene may cause the aberrant up-regulation in endometriotic tissues	Taniguchi F	女性診療科
Clin. Cancer Res, 17(14):4742-4750, 2011	Inhibiting the mTOR pathway synergistically enhances cytotoxicity in ovarian cells induced by etoposide through upregulation of c-Jun	Itamochi H	女性診療科
Gynecol. Oncol, 122:641-647, 2011	Novel mechanism of reduced proliferation in ovarian clear cell carcinoma cells: Cytoplasmic sequestration of CDK2 by p27	Itamochi H	女性診療科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE, 3:60-65, 2011	Objective evaluation of the alleviating effects of Goshajinkigan on peripheral neuropathy induced by paclitaxel/carboplatin therapy: A multicenter collaborative study	Sato S	女性診療科
Abdom Imaging, 36:612-618, 2011	Myometrial invasion by endometrial carcinoma:evaluation with 3.0T MR imaging	Harada T	女性診療科
Curr Opin Obstet Gynecol, 24(1):8-13, 2011	Bevacizumab and ovarian cancer	Sato S	女性診療科
Fertil Steril, 95(6):1928-31, 2011	Evaluation of a low-dose oral contraceptive pill for primary dysmenorrhea: a placebo-controlled, double-blind, randomized trial	Harada T	女性診療科

Gynecol. Oncol., 121:390–394, 2011	Side population is increased in paclitaxel-resistant ovarian cancer cell lines regardless of resistance to cisplatin	Itamochi H	女性診療科
Cancer Chemother Pharmacol., 69:599–603, 2012	Evaluation of a formula for individual dosage of nedaplatin based on renal function	Sato S	女性診療科
Arterioscler Thromb Vasc Biol., 31(5):1133–8, 2011	Cytosolic phospholipase A2alpha contributes to blood pressure increases and endothelial dysfunction under chronic NO inhibition.	Ogino Kほか	卒後臨床研修センター
Biomed Res., 32(5):303–12, 2011	Enhancing effects of salicylate or quinidine-induced block of human wild type and LQT3 related mutant cardiac Na <sup>+</sup> channels.	Ogino Kほか	卒後臨床研修センター
Allergol Int., 60(4):517–24, 2011	Pollen augments the influence of desert dust on symptoms of adult asthma patients.	Nakamoto Mほか	卒後臨床研修センター
Allergol Int., 60(3):267–75, 2011	Correlation between Asian dust storms and worsening asthma in Western Japan.	Nakamoto Mほか	卒後臨床研修センター
Human Pathology, 42:632–640, 2011	Association of Merkel cell polyomavirus infection with morphologic differences in Merkel cell carcinoma.	Nagata Kほか	卒後臨床研修センター
Viral Immunology, 24 (2):143–149, 2011	The influence of Epstein–Barr virus reactivation in patients with Graves’ disease	Nagata Kほか	卒後臨床研修センター
Hepatogastroenterology, 58(110–111):1638–42, 2011	Assessment of the ablated area after radiofrequency ablation by the spread of bubbles: comparison with virtual sonography with magnetic navigation.	Ueki Mほか	卒後臨床研修センター
Hepatol Res., 41(12):1240–8, 2011	Therapeutic effects of ezetimibe for non-alcoholic steatohepatitis in fatty liver shionogi-ob/ob mice.	Ueki Mほか	卒後臨床研修センター
Br J Radiol, 84:499–507, 2011	Assessment of hepatocellular carcinoma by contrast-enhanced ultrasound with perfluorobutane microbubbles: comparison with dynamic CT.	Koda Mほか	第二内科
Exp Ther Med, 2:1215–1220, 2011	Comparison between different thickness umbrella-shaped expandable radiofrequency electrodes (SuperSlim and CoAccess): Experimental and clinical study.	Koda Mほか	第二内科
Yonago Acta Med., 54:49–58, 2011	The effects of olmesartan and alfacalcidol on renoprotection and klotho gene expression in 5/6 nephrectomized spontaneously hypertensive rats.	Munemura Cほか	第二内科
Br J Radiol, 10:1259/bjr/64518148, 2011	Assessment of ablative margin by MRI with ferucarbotran in radiofrequency ablation for liver cancer: comparison with enhanced CT.	Koda Mほか	第二内科
Hepatol Res., 4:1240–1248, 2011	Therapeutic effects of ezetimibe for non-alcoholic steatohepatitis in fatty liver shionogi-ob/ob mice.	Koda Mほか	第二内科
Surg Today, 4:1196–1199, 2011	Surg Today, 2011; 41: 1196–1199, Topoisomerase I expression in tumors as a biological marker for CPT-11 chemosensitivity in patients with colorectal cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
Yonago Acta medica, 54:59–63, 2011	Operative procedure for laparoscopy-assisted vagus nerve and pylorus-preserving gastrectomy (LAVNPPG) for early gastric cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
Am Surg., 77:1274–1276, 2011	Outcome of Treatment of Liver Metastasis after Curative Surgery for Gastric Cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
手術, 65:749–756, 2011	II.胃 2.胃癌に対する幽門側胃切除術(鏡視下)	齊藤博昭ほか	第一外科
外科治療, 104:604–610, 2011	がん患者の周術期管理のすべて § 1.周術期管理の実際、胃全摘術	若月俊郎ほか	第一外科
Biotherapy, 25:747–755	上部消化器癌患者の細胞性免疫能低下とそのメカニズム	齊藤博昭ほか	第一外科
Oncol Rep., 26:659–664, 2011	Inhibition of nuclear factor- $\kappa$ B activity by small interfering RNA in esophageal squamous cell carcinoma cell lines.	Tatebe Sほか	第一外科
J Surg Oncol., 10.1002/jso.21983, 2011	Surgical outcomes for gastric cancer patients with intraperitoneal free cancer cell, but no macroscopic peritoneal metastasis.	Saito Hほか	第一外科
Gastric Cancer, DOI: 10.1007/s10120-011-0058-8, 2011	Decreased NKG2D expression on NK cells correlates with impaired NK cell function in patients with gastric cancer.	Saito Hほか	第一外科
Surg Today, DOI: 10.1007/s00595-011-0062-z, 2011	Relationship between expression of apoptosis-related proteins and the efficacy of postoperative chemotherapy in patients with T3 gastric cancer.	Saito Hほか	第一外科
Gastric Cancer, DOI: 10.1007/s10120-011-0138-x, 2012	Decreased number and reduced NKG2D expression of V $\delta$ 1 $\gamma$ $\delta$ T cells are involved in the impaired function of V $\delta$ 1 $\gamma$ $\delta$ T cells in the tissue of gastric cancer.	Saito Hほか	第一外科
Yonago Acta medica, 55:1–9, 2012	Upregulation of TIM-3 and PD-1 on CD4+ and CD8+ T cells associated with dysfunction of cell-mediated immunity after colorectal cancer operation.	Saito Hほか	第一外科
手術, 66:159–164, 2012	特集 胃腸食道の機能温存手術を極める、胃切除後再建における機能温存手術(胃・胃吻合)	齊藤博昭ほか	第一外科
Dis Esophagus, doi: 10.1111/j.1442-2050.2011.01308.x, 2012	Immunohistochemical study of nuclear factor- $\kappa$ B expression in esophageal squamous cell carcinoma: prognostic significance and sensitivity to treatment with 5-FU.	Tatebe S	第一外科
臨床泌尿器科, 66:105–112, 2012	安全なロボット手術導入のための教育と運用制度の構築	池口正英ほか	第一外科
Abdom Imaging, 36:612–618, 2011	Comparison of increased venous contrast in ischemic stroke using phase-sensitive MR imaging with perfusion changes on flow-sensitive alternating inversion recovery at 3 Tesla	Yamashita E	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol 2011 Aug 11 [Epub ahead of print]	Development of a new hanging-type esophageal stent for preventing migration: a preliminary study in an animal model of esophagotracheal fistula	Endo M	放射線科
Hepatogastroenterology, 58:916–921, 2011	Transfemoral approach using a 3.5–French catheter system for use in transcatheter arterial chemoembolization in patients with hepatocellular carcinoma: technical assessment	Ohuchi Yほか	放射線科
Eur J Radiol, 78:282–286, 2011	Usefulness of administration of SPIO prior to RF ablation for evaluation of the therapeutic effect: An experimental study using miniature pigs	Kakite S	放射線科
Eur J Radiol, 79:108–112, 2011	Three-dimensional gradient echo versus spin echo sequence in contrast-enhanced imaging of the pituitary gland at 3T	Kakite S	放射線科
Eur J Radiol, 77:330–334, 2011	Diffusion-weighted imaging findings of adnexal torsion:Initial results	Fujii S	放射線科
CI研究, 33:9–14, 2011	GH産生下垂体腺腫の3T MRI画像について	黒崎雅道	脳神経外科
J Bone Miner Metab, 29(5):561–570, 2011	Longitudinal change in hip fracture incidence after starting risedronate or raloxifene: an observational study.	Hagino Hほか	リハビリテーション部
Calcif Tissue Int., 90(1):14–21, 2012	The Risk of a Second Hip Fracture in Patients after Their First Hip Fracture	Hagino Hほか	リハビリテーション部
Calcif Tissue Int., 88(2):87–95, 2011	Effect of raloxifene on arthritis and bone mineral density in rats with collagen-induced arthritis.	Hagino Hほか	リハビリテーション部
Orthop Nurs., 30(1):54–61, 2011	The timing of hip fracture surgery and mortality within 1 year: a comparison between the United States and Japan	Hagino Hほか	リハビリテーション部

Eur J Oncol Nurs, 16(2): 145–152, 2011	Self-perceived burden in patients with cancer: Scale development and descriptive study.	Hagino Hほか	リハビリテーション部
J Infect Chemother, 17(5): 666–670, 2011	Recent trends in adult-onset septic arthritis of the knee and hip: retrospective analysis of patients treated during the past 50 years	Hagino Hほか	リハビリテーション部
J Orthop Sci, 16: 418–423, 2011	Serum 25-hydroxyvitamin D status in hip and spine-fracture patients in Japan.	Hagino Hほか	リハビリテーション部
J Clin Nurs, 20(5–6): 743–753, 2011	Difficulties in the daily life of patients with osteoarthritis of the knee: scale development and descriptive study	Hagino Hほか	リハビリテーション部
日本高齢消化器病学会誌, 13(2): 104–107, 2011	高齢者における非B非C型肝癌 非高齢者との比較	大山賢治ほか	がんセンター
臨床腫瘍プラクティス, 7(2): 129, 2011	卵巣がんの薬物療法—その現状と将来希望—特集企画にあたって	紀川純三	がんセンター
臨床腫瘍プラクティス, 7(2): 173–177, 2011	分子標的治療薬	紀川純三ほか	がんセンター
臨床腫瘍プラクティス, 7(2): 187–190, 2011	有害事象対策 効果的な支持療法 手足症候群、口内炎にどう対処するか	紀川純三ほか	がんセンター
肝臓, 52(6): 351–355, 2011	アルドース還元酵素阻害薬エバーレストットによる薬物性肝障害の1例	大山賢治ほか	がんセンター
臨床婦人科・産科, 85(7): 946–953, 2011	卵巣がん—最新の治療戦略 分子標的治療薬の種類と作用機序	紀川純三ほか	がんセンター
産婦人科治療, 103(2): 215–219, 2011	婦人科がんに対する分子標的治療薬の現況	紀川純三ほか	がんセンター
産婦人科の実際, 80(8): 1185–1190, 2011	腹膜偽粘液腫	紀川純三ほか	がんセンター
気管支炎, 33(6): 443–446, 2011	閉塞性肺炎で発見されたビーナツツによる気管支内異物の1例	唐下泰一ほか	がんセンター
日本産科婦人科学会雑誌, 63(12): 341–346, 2011	がんの分子標的治療	紀川純三ほか	がんセンター
がん患者に対する心理・社会的介入, 7(4): 433–436, 2011	がん患者に対する心理・社会的介入	中條雅美	がんセンター
産婦人科の実際, 61(2): 155–160, 2012	最近の婦人科悪性腫瘍治療への創薬開発や治療法開発の現況	紀川純三ほか	がんセンター
癌と化学療法, 39(2): 202–205, 2012	婦人科がん、婦人科領域の希少がんに対する治療戦略 卵巣癌 卵巣粘液性腺癌に対する治療戦略	紀川純三ほか	がんセンター
Int J Clin Oncol, 16(2): 141–4, 2011	Questionnaire survey of the current status of radical trachelectomy in Japan.	紀川純三ほか	がんセンター
Abdom Imaging, 36(5): 612–8, 2011	Myometrial invasion by endometrial carcinoma: evaluation with 3.0T MR imaging.	紀川純三ほか	がんセンター
Clin Cancer Res, 17(14): 4742–50, 2011	Inhibiting the mTOR pathway synergistically enhances cytotoxicity in ovarian cancer cells induced by etoposide through upregulation of c-Jun.	紀川純三ほか	がんセンター
Gynecol Oncol, 122(3): 641–7, 2011	Novel mechanism of reduced proliferation in ovarian clear cell carcinoma cells: cytoplasmic sequestration of CDK2 by p27.	紀川純三ほか	がんセンター
Int J Gynecol Pathol, 5(30): 431–441, 2011	Clear cell Adenocarcinoma With a Component of Poorly Differentiated Histology: A Poor Prognostic Subgroup of Ovarian Clear Cell Adenocarcinoma	紀川純三ほか	がんセンター
Yonago Acta medica, 54: 65–74, 2011	Psychological Factors and Characteristics of Recurrent Breast Cancer Patients without Psychosocial Group Therapy Intervention	紀川純三ほか	がんセンター
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE, 3: 60–65, 2011	Objective evaluation of the alleviating effects of Goshajinkigan on peripheral neuropathy induced by paclitaxel/carboplatin therapy: A multicenter collaborative study	紀川純三ほか	がんセンター
Mol Cancer Ther, 11(2): 360–9, 2012	MEK1/2 Inhibitor Selumetinib (AZD6244) Inhibits Growth of Ovarian Clear Cell Carcinoma in a PEA-15-Dependent Manner in a Mouse Xenograft Model.	紀川純三ほか	がんセンター
Clin Cancer Res, 18(5): 1374–85, 2012	High-risk ovarian cancer based on 126-gene expression signature is uniquely characterized by downregulation of antigen presentation pathway.	紀川純三ほか	がんセンター
Int J Gynecol Pathol, 31(2): 116–124, 2012	Histological Grading of Ovarian Clear Cell Adenocarcinoma: Proposal for a Simple and Reproducible Grouping System Based on Tumor Growth Architecture.	紀川純三ほか	がんセンター
Gynecol Obstet Invest, 2012	Feasibility Study on Biweekly Paclitaxel Treatment as Maintenance Chemotherapy in Advanced Müllerian Carcinoma.	紀川純三ほか	がんセンター
Cancer Chemother Pharmacol, 69(3): 599–603, 2012	Evaluation of a formula for individual dosage of nedaplatin based on renal function.	紀川純三ほか	がんセンター
Br J Radiol, 84: 498–507, 2011	Assessment of hepatocellular carcinoma by contrast-enhanced ultrasound with perfluorobutane microbubbles: comparison with dynamic CT.	大山賢治ほか	がんセンター
Hepato-Gastroenterology, 58: 1638–42, 2011	Assessment of the ablated area after radiofrequency ablation by the spread of bubbles: comparison with virtual sonography with magnetic navigation.	大山賢治ほか	がんセンター
Yonago Acta medica, 54: 65–74, 2011	Psychological Factors and Characteristics of Recurrent Breast Cancer Patients without Psychosocial Group Therapy Intervention	中條雅美ほか	がんセンター
西日本泌尿器科, 73(5): 228–233, 2011	腎盂尿管移行部狭窄症に対するdismembered Anderson-Hynes法による後腹膜鏡下腎孟形成術：初期11例の治療成績	磯山忠広ほか	泌尿器科
Jpn J Endourol ESWL, 24(1): 93–98, 2011	腹腔鏡下前立腺全摘除術における部分神経温存術の術後性機能に関する検討	武中篤ほか	泌尿器科
日本レーザー医学会誌, 32(1): 8–11, 2011	Holmium:YAG laser を用いた経尿道の尿管結石破碎術(TUL)の治療成績	本田正史ほか	泌尿器科
日本レーザー医学会誌, 32(2): 116–119, 2011	Holmium:YAG laser を用いた経尿道の膀胱碎石術	本田正史ほか	泌尿器科
Andrologia, 2011	Effects of the phosphodiesterase-5 inhibitor vardenafil on testicular androgen-binding protein secretion, the maintenance of foci of advanced spermatogenesis and the sperm fertilising capacity in azoospermic men.	Takenaka Aほか	泌尿器科
J Urol, 187(2): 451–456, 2012	Detailed histological investigation of the female urethra: Application to radical cystectomy.	Hinata Nほか	泌尿器科
BjU Int, 109(4): 628–633, 2012	Sensory neurone-specific receptor-mediated regulation of micturition reflex in urethane-anesthetized rats.	Honda Mほか	泌尿器科
Urology, 2011	Hydroxyfasudil ameliorates bladder dysfunction in the male spontaneously hypertensive rat.	Inoue Sほか	泌尿器科
BjU Int, 2011	Effect of silodosin on detrusor overactivity in the male spontaneously hypertensive rat.	Inoue Sほか	泌尿器科
J Assist Reprod Genet, 29(2): 203–209, 2012	Aromatase (CYP19) gene variants influence ovarian response to standard gonadotrophin stimulation.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Asian J Androl, 2011	Phosphatidylethanolamine N-methyltransferase and choline dehydrogenase gene polymorphisms are associated with human sperm concentration.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Urol Oncool, 2011	The significant immunological characteristics of peripheral blood neutrophil-to-lymphocyte ratio and Fas ligand expression incidence in nephrectomized tumor in late recurrence from renal cell carcinoma.	Sejima Tほか	泌尿器科

Urol Int, 2011	Fas expression in renal cell carcinoma accurately predicts patient survival after radical nephrectomy	Sejima Tほか	泌尿器科
Prostate, 71:1294-1298, 2011	Distribution of the lymphatic vessels in the prostatic fascia.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Curr Opin Urol, 21:45-59, 2011	Neuroanatomic basis for traction-free preservation of the neural hammock during athermal robotic radical prostatectomy.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Int Urol Nephrol, 43:749-754	Assessment of long-term quality of life in patients with orthotopic neobladder followed for more than 5 years.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Int J Impot Res, 23(2):56-61, 2011	Classification of the distribution of cavernous nerve fibers around the prostate by intraoperative electrical stimulation during laparoscopic radical prostatectomy.	Takenaka Aほか	泌尿器科
Int J Urol, 19(1):7-19, 2012	Anatomical basis for carrying out a state-of-the-art radical prostatectomy	Takenaka Aほか	泌尿器科
Oncology Reports, 2011	Zoledronic acid, a third-generation bisphosphonate, inhibits cellular growth and induces apoptosis in oral carcinoma cell lines	Takayuki Tamura	歯科口腔外科
ビジュアル疾患解説 眼で見る遺伝病とターナー症候群, 2011	Lesch-Nyhan症候群	領家和男	歯科口腔外科
臨床と微生物(近代出版), 2011	感染に由来するヒトの腫瘍—その現状と対策ヒトノピローマウイルス 口腔・口咽頭癌	領家和男	歯科口腔外科
臨床と微生物(近代出版), 2011	口腔病変からHIV感染症/AIDSの早期診断に至った症例	領家和男	歯科口腔外科
Oncology Letters, 2011	Effects of a concurrent chemoradiotherapy with S-1 for locally advanced oral cancer	領家和男	歯科口腔外科
診断病理, 2011	下唇に生じた非定型アスペルギルス症の1例	藤井信行	歯科口腔外科
診断病理, 2012	IgG4関連疾患との鑑別を要した口底および舌下腺reactive lymphoid hyperplasiaの1例	藤井信行	歯科口腔外科
今日の小児治療指針:78-80, 2012	経静脈栄養	上山潤一	小児科
今日の小児治療指針:171-172, 2012	HBV/HCV 感染症(ウイルス肝炎)	長田郁夫	小児科
今日の小児治療指針:222-223, 2012	成長ホルモン分泌不全性低身長	神崎晋	小児科
今日の小児治療指針:446-447	新生児肝炎	長田郁夫	小児科
J Clin Endocrinol Metab, 96(6):E1035-E1043, 2011	Aromatase Excess Syndrome: Identification of Cryptic Duplications and Deletions Leading to Gain of Function of CYP19A1 and Assessment of Phenotypic Determinants,ta T.	Hanaki K	小児科
Mod Rheumatol, 21(6):641-5, 2011	Patient with neonatal-onset chronic hepatitis presenting with mevalonate kinase deficiency with a novel MVK gene mutation.	Nagata I	小児科
Br J Pharmacol, 163(2):272-82, 2011	Nicorandil ameliorates ischaemia-reperfusion injury in the rat kidney.	Kinoshita Y	小児科
Endocr J, 59(3):179-85, 2012	Familial short stature with IGF-I receptor gene anomaly [Review].	Kawashima Y	小児科
Cardiovasc Res, 93(2):320-9, 2012	Energy-preserving effects of IGF-1 antagonize starvation-induced cardiac autophagy.	Kawashima Y	小児科
Clin Endocrinol (Oxf), 2012	Novel missense mutation in the IGF-I receptor L2 domain results in intrauterine and postnatal growth retardation.	Kawashima Y	小児科
Clin Endocrinol, 59(3):179-185, 2012	Familial short stature with IGF-I receptor gene anomaly	Kawashima Y	小児科
鳥取医誌, 38(4):174-178, 2011	2009年9月～2010年1月に当院当科に入院となった新型インフルエンザ25症例のまとめ	魚谷三恵	小児科
小児科, 52(6):925-929, 2011	経過中に頻回の無呼吸発作を呈し、人口呼吸管理を要した新生児百日咳の1例	橋田祐一郎	小児科
米子医学雑誌, 62(3・4), 2011	Trisomy 18 に合併した先天性疾患20例の臨床経過の検討	船田裕昭	小児科
Progress in Medicine, 31(7):1726-1729, 2011	シクロスボリンが奏効した難治性川崎病の1例	田本直弘	小児科
米子医学雑誌, 62(5):159-165, 2011	Reduced-intensity chemotherapy(RIC)による造血細胞移植を選択した再発RAEB-AML-M6症候群の1例	上山潤一	小児科
成長科学協会研究年報, 34:57-63, 2011	低身長の生活の質 低身長児の身長イメージと心理社会指標の関連	花木啓一	小児科
病原微生物検出情報, 32(9):21, 2011	心肺停止患者の咽頭ぬぐい液からのコクサッキーウィルスA6型(CA6)の検出と県内CA6の検出状況—鳥取県	横山浩己	小児科
米子医学雑誌, 62(6), 2011	LCHの臨床像と予後の検討	上山潤一	小児科
日本小児科学会雑誌, 114(9):1447-1451, 2011	潰瘍性大腸炎を合併したTurner症候群の1例	松下博亮	小児科
日本小児科学会雑誌, 115(11):1773-1780, 2011	肝障害・難治性下痢を契機に発見されたミトコンドリア呼吸鎖I異常症	松下博亮	小児科
周産期医学, 41(増刊):613-615, 2011	210.ウイルス性肝炎	長田郁夫	小児科
周産期医学, 41(増刊):1027-1030, 2011	358B.巨細胞ウイルス母子感染予防	長田郁夫	小児科
小児科, 53(1):119-123, 2012	心因性多飲として経過観察され、両側水腎症と巨大膀胱を呈した部分型腎性尿崩症(原著論文)	宮原史子	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌, 24(1):61-65, 2012	新生児に対する中心静脈カテーテルの使用と合併症:鳥取大学医学部附属病院新生児センターでの検討	松下博亮	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌, 24(1):87-92, 2012	生後15日目に重症黄疸を呈し、eosin-5-maleimideを用いた赤血球膜band 3定量法にて診断し得た遺伝性球状赤血球症の早産児例	美濃陽一	小児科
小児科臨床, 65(2):297-301, 2012	乳児期早期に呼吸困難で発症し、人工呼吸管理を要した甲状腺腫瘍の1例	橋田祐一郎	小児科
小児内科, 43(6):1014-1017, 2011	生理的胆汁うっ滯	村上潤	小児科
小児看護IO, 34(11), 1487-1492, 2011	【内分泌・代謝系】②黄疸	長田郁夫	小児科
グローリング, 38(秋号):1-6, 2011	健やかなからだづくりと成長ホルモンの働きについて	神崎晋	小児科
第7回医師のための母乳育児支援セミナーin 横浜:100-112, 2011	母乳育児とビタミンK	長田郁夫	小児科
別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ, 17:523-527, 2012	腎臓症候群(第2版)上-その他の腎臓疾患を含めて-VI 薩氏腎疾患 alstrom症候群	岡田晋一	小児科
日本産婦人科医会報, 64(2):No.739:8-9, 2012	B型肝炎ワクチン～母子感染予防(selective vaccination)からuniversal vaccinationへ	長田郁夫	小児科
小児科診療, 75(3):399-404, 2012	特集 日常診療に必ず役立つ小児内分泌学 III.必ず遭遇する内分泌疾患を疑わせる訴え:絶対に確認すべきファーストライン 肥満	花木啓一	小児科
小児内科, 44(4):517-522, 2012	水・電解質代謝と内分泌	岡田晋一	小児科
日本小児外科学会雑誌, 47:1043-1047, 2011	急性腹症として発症した腸間膜脂肪芽腫の1例	高野周一ほか	小児外科
日本小児泌尿器科学雑誌, 20:86-90, 2011	Congenital Prepubic Sinusの1例一本邦報告34例の検討一	高野周一ほか	小児外科

J Cutan Pathol, 38(8):670–676, 2011	Myofibroblastic differentiation in atypical fibroxanthomas occurring on sun-exposed skin and in a burn scar: ultrastructural and immunohistochemical study.	Ito A	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(6):1014–1015, 2011	Multiple skin lesions caused by <i>Mycobacterium scrofulaceum</i> infection.	Ito A	皮膚科
J Dermatol, 38(6):593–596, 2011	Syringocystadenoma papilliferum on the male nipple.	Shindo M	皮膚科
J Cutan Pathol, 38(4):372–375, 2011	Cutaneous epithelioid angiomatous nodule arising in capillary malformation.	Shioiri T	皮膚科
J Dermatol, 38(11):1054–1057, 2011	Extramammary Paget's disease: Evaluation of the histopathological patterns of paget cell proliferation in the epidermis.	Shioiri T	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(4):626–627, 2011	Disseminated <i>Mycobacterium intracellulare</i> infection.	Tominaga K	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(5):811–813, 2011	Dermoscopic and histopathological findings of epidermotropic metastatic malignant melanoma.	Watanabe T	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(2):299–300, 2011	Mucocutaneous-type pemphigus vulgaris with anti-desmoplakin autoantibodies.	Watanabe T	皮膚科
Acta Derm Venereol, 91(5):607–610, 2011	Red papules on the face: A quiz.	Watanabe T	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(2):273–274, 2011	Oncocytoma of the parotid gland presenting as a subcutaneous tumor.	Watanabe T	皮膚科
Br J Dermatol, 164(6):1395–1396, 2011	Abnormal cell attachment devices in circumscribed palmar hypokeratosis: ultrastructural observation.	Yamamoto O	皮膚科
Acta Derm Venereol, 91(4):465–468, 2011	Difficulty to identify sentinel nodes with computed tomography-lymphography in patients with cutaneous melanoma.	Yoshida Y	皮膚科
Eur J Dermatol, 21(3):452–453, 2011	occipital bone dysplasia associated with diffuse plexiform neurofibroma.	Yoshida Y	皮膚科
鳥取県臨床検査技師会会誌, 2011	生理検査におけるスキャンシステム活用経験	石本学	検査部
鳥取県臨床検査技師会会誌, 2011	酵母様真菌鑑別用培地の基本性能の比較検討	森下契太	検査部
鳥取県臨床検査技師会会誌, 2011	凝固・線溶亢進を示した血球貧血症候群の一症例	寺岡千織	検査部
鳥取県臨床検査技師会会誌, 2011	TaqManPCRの有用性	前田佑未	検査部
鳥取県臨床検査技師会会誌, 2011	機能的残気量測定におけるガス希釈法と体プレチスマグラフ法の比較検討	大田原愛	検査部
Cortex 2011, in press	Distinction between the literal and intended meanings of sentences: A functional magnetic resonance imaging study of metaphor and sarcasm.	Uchiyama HT	脳神経小児科
J Biochem 1~9, 2011	Kunihiro Suzuki and sphingolipidoses.	Ohno K	脳神経小児科
Sleep Medicine, 2011	Utility of the REM sleep behavior disorder screening questionnaire(RBDSQ)in Parkinson's disease patients	Nakashima Kほか	神経内科
Neuroscience Research, 2011	A multi-channel near-infrared spectroscopy study of prefrontal cortex activation during working memory task in major depressive disorder.	兼子幸一ほか	精神科
Psychiatry Research, 2012	The pilot study of a Neuropsychological Educational Approach to Cognitive Remediation for patients with schizophrenia in Japan.	兼子幸一ほか	精神科
Neuroscience Research, 2011	Valproic acid improves the tolerance for the stress in learned helplessness rats.	兼子幸一ほか	精神科
統合失調症治療の新たなストラテジー, 2011	統合失調症維持期と再発予防に向けた治療ストラテジー	長田泉美	精神科

合計200

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）  
 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 北野 博也
管理担当者氏名	総務課長 菅原秀倫、医療サービス課長 田村和彦

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医療情報部 薬剤部 各診療科	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管） 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務・研究課	
	高度の医療の研修の実績	総務課 医療サービス課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
第規一則号第一掲条の十體一制第一確項保各の号状況及び第九条の	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	

二 十 三 第 一 項	医療に係る安全管理を行った部門の設置状況	総務課及び医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の	保管場所	分類方法
		院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要な情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター

状況	医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	MEセンター 医療安全管理部
----	---	-------------------

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

### 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

#### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北野 博也（病院長）
閲覧担当者氏名	菅原 秀倫（総務課長）、田村 和彦（医療サービス課長）
閲覧の求めに応じる場所	相談室

#### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

#### ○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	91.3 %	算 定 期 間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月 31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			11,634人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			8,569人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,136人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			15,896人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をDとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 安全管理に関する基本的な考え方</li><li>(2) 安全管理のための組織に関する基本的事項</li><li>(3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針</li><li>(4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針</li><li>(5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 本院における医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>(7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療に係る安全管理の体制の確保及び推進を図り、医療事故及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。</li></ul></li><p>(審議事項)</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること。</li><li>・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること。</li><li>・ 医療に係る安全確保を目的とした改善の方策に関すること。</li><li>・ 医療事故及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること。</li><li>・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故の再発防止に関し、病院長から命を受けたこと。</li><li>・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること。</li></ul></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 64回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新採用者研修 リスクマネジメント</li><li>・ 安全対策の基本 リスクマネジメント</li><li>・ 病院情報管理システム操作研修</li><li>・ 静脈注射院内認定看護師養成研修 リスクマネジメントの立場から</li><li>・ 医療安全への取り組み報告研修会</li><li>・ 医療機器取り扱い研修会</li><li>・ 福島第一原子力発電所事故と低線量放射線の人体影響</li><li>・ 深部静脈血栓症について</li><li>・ 院内暴力対策－患者からの暴言・暴力対策</li><li>・ BLS研修会</li><li>・ JVAC研修会</li><li>・ DVDを用いた医療安全研修会 等</li></ul></li></ul>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

・ 問題点の把握状況

G RM 2名及び、医療安全担当副師長で、報告書を基に事故の種類、報告者職種、患者への影響度及び発生時間帯等を集計し、医療現場で発生する問題点を把握し、週1回カンファレンスを行い検討している。

また、日々の報告書提出時現場で、現場担当のリスクマネジメント担当者と検証を行い原因・誘因を抽出し対策をこうじている。

・ 問題点の分析状況

G RMが上記問題点の集計結果を調査・分析し改善策を作成する。

・ 分析・改善策（案）作成のための小委員会等の設置

リスクマネジメント専門委員会を設置している。

・ 改善策の立案部門及び決定部門

上記委員会において作成した改善策を検討し、医療事故防止等対策委員会に報告し更に検討して決定する。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 有（ 1名）・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 有（ 1名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 有・無

- ・ 所属職員： 専任（ 1）名 兼任（ 8）名
- ・ 活動の主な内容：

- ・ 医療事故防止等対策委員会の運営並びに記録等の作成及び保管に関すること。
- ・ 医療事故に関する診療録、看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 患者家族への説明など事故発生時の対応について確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- ・ その他医療安全対策の推進に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 有・無

(様式第 13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： 以下の事項について審議する 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 31回
・ 研修の主な内容： ・ 手指衛生、針刺し・血液暴露対策と暴露時の対応など ・ 感染対策の基本（標準予防策、手洗い、防護具、針刺し防止） ・ 職業感染対策と廃棄物の取り扱い ・ 忙しい部署で行うべき感染対策 ・ 日常診療でよく遭遇する感染症と最新の感染対策 ～カテーテル類に関連する感染症対策を含めて～ ・ アウトブレイク・病棟ラウンド ・ 当院における針刺し防止対策 ・ 看護部感染対策リンクナース会活動	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 ) ・ その他の改善の方策の主な内容： ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応	

(様式第13-2)

### 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年47回
・ 研修の主な内容 :	
・ 医療安全への取り組み報告研修会（全職員対象） 処方箋記載方法の標準化について 確実な内服管理に向けて 内服・注射に関する確認行動の徹底を目指して 麻薬事故を減らすために インスリンのリスク管理 DVD研修 ・インスリン療法研修会 ・静脈注射院内認定看護師教育研修（計2回開催） ・研修医に対するプレローテーション（処方および注射オーダー、注射薬調整）（計4回開催） ・薬剤師出前研修（医師・看護師対象、部署単位） オピオイド製剤を中心としたがん性疼痛コントロール フェンタニル貼付剤の違い オピオイド製剤を中心としたがん性疼痛コントロール ステロイドについて 化学療法～胃・食道がんを中心に～ 他	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （有・無） ・ 業務の主な内容 : (平成23年度改正箇所) ・ 「薬事委員会申し合せ」改正 ・ 「薬剤師による院内（外来・病棟等）巡視マニュアル改正 ・ 「内外用薬の自己管理について」改正 ・ 「与薬（内服薬・外用薬）業務に関するマニュアル」改正 ・ 「薬剤管理指導（服薬指導）マニュアル」改正 ・ 「薬剤師による持参薬鑑別マニュアル」改正 ・ 「鳥取大学採用インスリン製剤一覧」追加 ・ 「麻薬取扱マニュアル（病棟・外来・手術部用）」改正 ・ 「使用する輸液セットに注意が必要な医薬品」追加	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ その他の改善の方策の主な内容 : (情報収集の方法) ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集 ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握 ・ 厚労省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等） (情報の周知方法) ・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会 ・ 書面や医療情報システム掲示板を利用した情報提供 ・ 医師等の個人に直接情報提供	

(様式第 13-2)

### 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 7 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 輸液ポンプ・シリンジポンプ、モニタ、除細動器、アンビュ、人工呼吸器、保育器、透析濾過装置、血液浄化装置、人工心肺装置、P C P S、I A B P、高気圧酸素治療装置</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 <ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 ( 有・無 )</li><li>保守点検の主な内容： 点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用後点検</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 <ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li><li>その他の改善の方策の主な内容：</li></ul>	
(情報収集の方法) 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書を整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はすべて ME センターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求め、医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内へ周知する。また、これら不都合情報のうち適正かつ安全な医療遂行に支障を来すような内容については病院長に報告し、厚生労働省への報告を検討する。	
(情報の周知方法) 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。	